



## FD講演会

# eラーニングにおける 世界・日本・北大・工学系部局 それぞれの動向と課題



2014年12月16日(火) 16:30~18:30

工学部オープンホール

申込不要

### 講演 1



**船守 美穂 氏**  
東京大学教育企画室  
特任准教授

〔演題〕  
デジタル化時代における  
世界の高等教育の潮流  
MOOC から主体的学び、  
大学改革まで

### 講演 2



**重田 勝介 氏**  
情報基盤センター  
オープンエデュケーションセンター  
准教授

〔演題〕  
世界・日本の動向と  
北大全学の活動

### 講演 3



**篠原 潤一 氏**  
工学系教育研究センター  
特任教授

〔演題〕  
工学系部局のeラーニング  
システム運用の現状、  
教員から見た負担とメリット、  
課題と提案

## プログラム概要

日時 2014年12月16日(火) 16:30~18:30

場所 工学部オープンホール

テーマ: eラーニングにおける世界・日本・北大・工学系部局それぞれの動向と課題

16:30~16:35 開会のあいさつ 教育・キャリア企画室長

16:35~17:20 話題提供(1)

東京大学教育企画室 特任准教授 船守美穂

(題目) デジタル化時代における世界の高等教育の潮流—MOOCから主体的学び、大学改革まで

(概要) 船守先生が御自身で米国、欧州、アジア諸国を調査した最新情報を以下のような観点で紹介させていただきます。

2012年から2013年に世界の研究型大学に一大旋風を巻き起こしたMOOCはその後、主体的学びやコンピテンシー・ベースド教育などの21世紀型スキルに通じる教育を促し、また大学のカリキュラムのモジュール化、柔軟化、さらには教室を越える学習空間やキャンパスデザインといった発想まで生んだ。

気がつけばMOOC自体は下火となりつつあるが、世紀の変わり目の大学改革のなかにオンライン教育を組み込んだ形で更に大きなうねりとなって21世紀の高等教育に影響を与えつつある。

今回はこうしたMOOCを契機に変わりつつある世界の高等教育のさまを紹介する。

講演や著作: <http://researchmap.jp/funamori/>

休憩(10分)

17:30~17:50 話題提供(2)

情報基盤センター、オープンエデュケーションセンター 准教授 重田勝介

(題目) 世界・日本の動向と北大全学の活動

(概要) 重田先生はMOOCs開発の初期段階からその推移を熟知し、御自身でJMOCに開講をし、オープンエデュケーションセンターを副センター長の立場で立ち上げに奮闘しています。

そのような経験と背景から、世界、日本、北大を俯瞰したeラーニング動向を解説していただきます。

JMOC: <http://www.jmoooc.jp/>

17:50~18:10 話題提供(3)

工学系教育研究センター(CEED) 特任教授 篠原潤一

(題目) 工学系部局のeラーニングシステム運用の現状、教員から見た負担とメリット、課題と提案

(概要) CEEDではeラーニングコンテンツを制作する教員の負担を軽減する様々な活動をしており、その現状を説明し、さらに教員の最新研究成果を映像化し、教材への利用促進をサポートする提案をします。

- ・ 現状確認(配信科目、受講数推移、履修とシラバスなど)
- ・ コンテンツ事例(英語授業のアイデア、IT機器活用例など)
- ・ 教員の負担を軽減する各種活動(他者著作物利用許諾、教員の顔の写らないコンテンツ制作、研究活動の映像化と教材への展開など)
- ・ 提案(教員の研究活動からeラーニングコンテンツ配信までCEEDがトータルサポート)

18:10~18:30 パネラー・フロアー間の意見交換

18:30 閉会